



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2026 8



7月3日うはらホールにおいて「第104回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」が開催されました。

県内の生協・農協（JA）・漁協（JF）・森林組合の組合員や役職員等、257人が集いました。また、上岡 美保氏が「食と農の「協同」で笑顔の未来を！～“大人の食育”が支える、活力ある持続可能な地域づくり～」と題して記念講演を行いました。





関西学院大学生協同組合 /
大手前大学生協同組合 専務理事

齊藤 和久
(さいとう・かずひさ)

学生笑顔あふれる生協食堂の 実現に向けて

関西学院大学生協／大手前大学生協で専務理事をしております、齊藤と申します。この度、兵庫県生協連の理事を務めさせていただくことになりました。まだまだ至らぬ点はあろうことかと存じますが、改めてよろしくお願ひ申し上げます。

少しだけ自己紹介をさせていただきます。2000年に大阪地区の大学生協に入協し、縁あって2018年から関西学院大学生協へ移籍となり、2022年5月に関西学院大学生協／大手前大学生協の専務理事に就任いたしました。

大学生協ではこれまで、総務・旅行・共済・食品・書籍・住まい、と大学生協職員としてはかなり珍しいことですが、食堂以外の分野を経験してきました。そんな私自身ですが、今は「関西生協食堂の活性化」を自分の最優先課題に位置付けております。

関西学院大学では、今年からお昼休みの時間が、これまでの40分から60分へ延長され、学生組合員がゆつくりと食事ができる環境になりました。そのおかげもあって、嬉しいことに4月以降、お昼休みの時間帯の利用者数が増加しています。今までは、食堂に来て

も少しでも混雑していれば食事をとることを諦めて授業に向かっていった学生組合員に、今年からは「待つ」という選択肢が増えました。やっぱり、たくさんさんの学生組合員に「関学生協食堂」で食事をとっていただけると嬉しい気持ちになります。

西宮市にある西宮上ヶ原キャンパスではこの夏季休暇期間中に食堂2店舗の大幅改装があり、9月の秋学期開講よりリニューアルいたします。新しく、綺麗に生まれ変わる「関学生協食堂」でもたくさんさんの学生組合員に利用いただけるために何ができるだろう？何をしなければいけないだろう？と日々、考えております。

大学生協には、大学生協の事業を学生目線でサポートする学生委員会というチームがあります。彼等も「学生の意見や声を反映した関学生協食堂にしたい！」とテーマを掲げ、自ら積極的に学生組合員の声を集めたり、混雑緩和のための施策を提案してきたり、若者らしい、エネルギーあふれる活動を続けてくれています。そんな頼もしい学生委員と生協職員で二人三脚を組んで、いつでも利用したくなるような「関学生協食堂」の実現を目指して参ります。

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|--|
| 2. 想点 | 6. ひょうごまるごと健康チャレンジ2026／
県連行事予定／編集後記 |
| 3. 第104回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催 | |
| 4. 協同組合のかけ橋 | |
| 5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 | |

国際協同組合デー・ 兵庫県記念大会を開催

7月3日、うはらホールにおいて、「協同の力で未来をつくる～SDGs達成に向けた地域との共創・平和で持続可能な地域社会づくりへの貢献～」をテーマに、「第104回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催しました。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様や、兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）を組織する生協、農協、漁協、森林組合の主催者団体の役職員、組合員など、257人が参加しました。



菅村 哲也
兵庫県農林水産部部長



福本 博之
兵庫県
農業協同組合中央会
代表理事会長

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められており、兵庫県では、この日を受けて、毎年7月に開催しています。また同日には、第43回兵庫 JCC 委員会が併せて開催され、各協同組合（連合会）のトップが参加。活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県農業協同組合中央会代表理事会長福本博之様が挨拶。続いて、兵庫県農林水産部部長菅村哲也様、神戸市経済観光局農政担当局長椿野智弘様、一般社団法人日本協同組合連携機構代表理事専務山下富徳様からご祝辞をいただきました。

最後に、摂津地区漁協女性部連合会会長井上二三枝様が「第104回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会兵庫 JCC 宣言」を読み上げました。「国際社会から協同組合に向けられる期待は一層高まっており、地域に根差した助け合いの組織として、協同組合間相互のパートナーシップをとらして、平和で安全・安心な暮らしの実現に貢献することがますます求められています。生協・農協・漁協・森林組合など兵庫県内の協同組合の仲間がより強固なつながりにより『協同の力で未来をつくる』ため一層努力していく」ことを宣言し、満場一致で採択されました。



山下 富徳
一般社団法人
日本協同組合連携機構
代表理事専務



椿野 智弘
神戸市経済観光局
農政担当局長



（司会）門田 ひとみ
兵庫県
漁業協同組合連合会



（兵庫 JCC 宣言）
井上 二三枝
摂津地区
漁協女性部連合会 会長

第104回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 兵庫 JCC 宣言

消費者・組合員の生活を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、特に長引く物価高は生産と消費のすべてに影響を及ぼし、暮らしを圧迫しています。国内の経済産業は、物価上昇に対して賃金の引き上げが追いつかず、食料品をはじめ生活に欠かせないあらゆる分野で負担感が強まっています。食をめぐる異常気象や少子高齢化のもとでの担い手不足、資材価格の高騰などにより、生産現場の持続可能性が一層厳しさを増しています。

また、国同士の協調が崩れ、政治的・軍事的衝突と混乱が長期化しています。世界各地で頻発する自然災害も甚大化しており、地球規模で様々な課題の深刻さが増えています。

国連は2030年までに持続可能でより良い世界を目指すための目標として SDGs を掲げ、その達成を世界に呼びかけています。また、2回目となった2025年の国際協同組合年に続き、今後10年ごとに国際協同組合年を設け、社会・経済開発における協同組合の役割と価値を再確認していくこととなりました。

今、国際社会から協同組合に向けられる期待は一層高まっており、地域に根差した助け合いの組織として、協同組合間相互のパートナーシップをとらして、平和で安全・安心な暮らしの実現に貢献することがますます求められています。

私たち兵庫 JCC は設立宣言において、「平和とよりよい生活、より豊かな人間社会を築き上げる」と掲げ、協同して活動に取り組み、その思いを受け継いできました。

これからも様々な協同組合や諸団体と連携し、誰一人取り残さない持続可能な地域づくりをすすめてまいります。

本日、第104回国際協同組合デー・兵庫県記念大会の開催にあたり、私たちは生協、農協、漁協、森林組合など兵庫県内の協同組合の仲間が、より強固なつながりによって「協同の力で未来をつくる」ため、一層努力していくことをここに宣言します。

2026年7月3日

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）



「第43回兵庫 JCC 委員会」が開催されました

兵庫 JCC =
兵庫県協同組合連絡協議会とは
[Hyogo-ken Joint Committee of
Co-operatives]

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）は、兵庫県内の生協、JA（農協）、JF（漁連）、JForest（森林組合）の相互交流と連携を目的に、1984年7月の第62回国際協同組合デーを機に設立。

協同組合のかけ橋

JF

JF 森

料理教室を開催

JF 森（森吉秀 代表理事組合長）と淡路市漁業振興協議会は、地元で水揚げされる魚の美味しさを知ってもらうため「地元の魚をさばいて食べよう」をテーマに料理教室を開講しました。6月4日（木）には淡路市立浦小学校で34名、6月16日（火）には淡路市立学習小学校で46名の児童が参加しました。

今年は漁協より提供されたアジを使用し、児童たちは三枚おろしとソテーの調理に挑戦しました。多くの児童にとって魚をさばくのは初めてで、特に三枚おろしの裏面をおろす工程に苦戦する姿が見られました。それでも講師の指導を受けながら、真剣な表情で包丁を動かしていました。

食事の時間には、淡路島の海の豊かさや地元漁業についての講習も行われ、児童たちは海の恵みについて理解を深めました。

児童からは「大きな魚を初めて切って楽しかった」、「魚がおいしくて、一瞬で食べ終わってしまった」等の感想が聞かれ、講師からの、「家でも魚をさばきたいですか」という問いかけに対し、多くの児童が「またさばきたい」と元気に答えていました。

今回の料理教室は、地元の海の恵みを知り、食への関心を高める貴重な機会となりました。今後も地域の食文化を次世代へつなぐ活動として継続していく予定です。



JA

JA 兵庫西 JA 兵庫西しそ種子生産組合

種子の品質向上に向けた取組みを継続し、 兵庫県の農作物の生産を支える

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介します！

Q1. 組合の成り立ちについて教えてください

兵庫県では、水稲・麦・大豆の生産量を安定させるため、県が指定したほ場で種子を栽培しています。

宍粟市山崎町は、台風被害の少なさや適度な降水量等の自然条件に恵まれていることから昭和32年に県から種子の生産地域として指定を受けました。これを契機に、採種面積の確保と収量の安定化を図るため、山崎町神河地区に神河種子生産組合を設立しました。

平成12年にはJA 兵庫西しそ種子生産組合へと改称し、現在は112名の組合員で、11品種の種子の生産に取り組んでいます。

Q2. 組合の取組みについて教えてください

当組合は、県が指定する8つの種子生産組合の中で、最大規模となる約80haの農地で種子を栽培しています。特に、もち米品種は県内で当組合だけが栽培を担っており、当組合での生産が途絶えると県内全体のもち米品種の栽培が困難になるため、責任感をもって栽培しています。

Q3. 組合の特徴について教えてください

使用する種子の品質は農作物の生産量に大きく影響します。そこで当組合では、自主点検を定期的に実施し、異なる品種の混種や病害の発生を防ぐことで種子の品質向上に努めています。

また、作物毎に栽培講習会を実施し、栽培における注意点や資材の説明を行うことで栽培技術の向上につなげています。こうした取組みを継続することで、設立以来、混種の発生ゼロを維持しています。

Q4. 現在、力を入れている取組みについて教えてください

種子の生産には、専用大型農機の手作業だけでなく、作業後には機械を分解して整備・洗浄を行うなど、一般的な栽培とは異なる技術が必要です。

そこで、当組合では、刈取りや種子消毒といった専門性の高い工程を担うオペレーターを選任し、高度な技術が必要な作業は全てオペレーターが実施しています。

Q5. 今後の目標について教えてください

今後、当組合では取り扱う品種数を増やしていきたいと考えています。そこで、これまで取り組んできた自主点検やオペレーター育成を継続するとともに、品種毎の特性を踏まえた栽培マニュアルの整備・更新も適宜進めていきたいと考えています。





令和8年度 消費生活講座

参加
無料

高齢期を安心して過ごすために

～今こそ 準備を！～

9/4 (金) 14:00～15:30

見逃し配信あり

ひとり終活のすすめ

～充実した暮らしのために～



倒れたときや葬送などひとり暮らしの人が心配している問題について、対処する手段を分かりやすく解説。元気なうちに実行することを目指す。

Zoom
参加申込



(一社) シニア生活文化研究所
代表理事

小谷 みどり 氏

〈講師プロフィール〉

2019年まで第一生命経済研究所で研究に従事。専門は死生学、生活設計論。博士(人間科学)。著書に「ひとり終活 不安が消える万全の備え」「没イチャパートナーを亡くしてからの生き方」等。

【共催：兵庫県金融広報委員会】

9/11 (金) 14:00～15:30

見逃し配信あり

高齢者の 消費者トラブルと認知症



高齢者が巻き込まれやすい消費者トラブルと認知症との関係について事例を交えて分かり易く解説。予防策や早期対応のポイントについて学ぶ。

Zoom
参加申込



京都府立医科大学大学院
医学研究科精神機能病態学 教授
消費者庁新未来創造戦略本部
客員主任研究官

成本 迅 氏

〈講師プロフィール〉

精神医学高齢者医療の専門家として認知症や意思決定支援の研究に取り組む。(一社) 日本意思決定支援推進機構理事長。著書に「認知症の人の医療選択と意思決定支援」等。

申込み方法

兵庫県在住・在勤・在学の方

会場参加 兵庫県立消費生活総合センター 先着30名

①電話：☎ 078-302-4001 (平日10時～17時)

②申込サイト：右の**会場参加申込**からお申し込み下さい。

会場参加申込



オンライン参加 Zoom ウェビナーでの視聴 先着200名

①申込サイト：上記の**Zoom 参加申込**からお申し込みください。

②Zoom ウェビナー招待メールが届きます。当日、参加リンク部分をクリックしてご参加ください。

※申込後、数時間たっても招待メールが届かない場合は、下記までお電話でお問い合わせください。

③**見逃し配信** 9/4 講座：9/4 (金) 17:00～9/7 (月) 24:00

9/11講座：9/11 (金) 17:00～9/14 (月) 24:00

ご登録いただいた個人情報、講座の運営管理にのみ使用いたします。

お問合せ：〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-2

兵庫県立消費生活総合センター 消費生活情報プラザ TEL：078-302-4001(平日10時～17時)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

夏本番。今年から私は日傘を活用するようにしました。当初は日傘をさすことで、むずがゆい気持ちになっていたのですが、使ってみると、あの突き刺すような厳しい日差しから身を守ることができて、快適でした。

さて、クレジットカードの「リボ払い」についてお話をしていました。リボ払いというのはクレジットカードの支払い方法のひとつで、総額に対し毎月の返済額を一定額にする支払い方法です。これと対比して、総額に対し支払い回数を決める支払い方法を分割払いと言います。さて、このリボ払いの何が危険かという手数料料です。これが高額になってしまい、支払いが終わらないという危険があるのです。支払いのシュミレーションは、カード会社のウェブサイトにもアップされていて、総額と支払い金額を入力すると、いつまでに支払いが終わるかなどがわかるようになっています。ぜひ、シュミレーションしてみてもらえたらと思います。実際に支払い総額と期間をみると汗かいてしまいますね。そして、怖い理由のもうひとつに、自分では気が付ないうちにリボ払いの設定になっていることがあるのです。このお話は次回にしたいと思います。

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com



MOVE

ひょうごまるごと健康チャレンジ2026

チャレンジ期間

2026年7月20日(月)～11月30日(月)

ひょうごまるごと健康チャレンジ2026
30回健康習慣づくり

参加無料
毎日1つでも大丈夫!

30回チャレンジしたらオリジナルTシャツプレゼント!

チャレンジの始めかた
自分の「健康」に関して考えてみて～

1 えらぶ
パンフレットや中の4～10コースのメニューの中からチャレンジ項目を決めよう!

2 とりくむ
マイチャレンジカレンダーにわたしのチャレンジ項目を書き入れ、取り組みの日付を記入しよう!

3 ほろこくす
30回チャレンジしたら「Web」か「はがき」で結果を報告!

4 食べ健康コース
食生活改善のヒントが満載! 食生活改善のヒントが満載!

5 いきいき元気コース
運動習慣の大切さを学び、毎日の運動習慣を身につけよう!

6 すこやか生活コース
生活習慣病の予防と健康維持のヒントが満載!

7 キッズチャレンジコース
子どもと一緒に健康習慣を身につけよう!

～2026年11月30日(月) 期間中のお好きな30回チャレンジ可能! 連続して30日でもOK!

「ひょうごまるごと健康チャレンジ 2026」は、参加者が自分に合った「健康チャレンジ」をみつけて気軽に健康習慣づくりができる取り組みです。医療生協やコープこうべの店舗に設置しているチャレンジシートにそって、期間中30回チャレンジできたら「Web」か「はがき」で結果を報告! 抽選で300名様にトートバックをプレゼントします! 皆様のご参加をお待ちしています。

今年はコース名、
チャレンジ例も一新!

●参加方法●

- ① コースメニューを参考にチャレンジ項目を決める。
- ② マイチャレンジカレンダーに取組んだ日付を記入する。
- ③ 30回チャレンジしたらWebかはがきで結果を送る。

気軽にチャレンジ! 健康習慣づくり!

A 食べる健康コース
食生活改善のヒントが満載! 食生活改善のヒントが満載!

B いきいき元気コース
運動習慣の大切さを学び、毎日の運動習慣を身につけよう!

C すこやか生活コース
生活習慣病の予防と健康維持のヒントが満載!

D キッズチャレンジコース
子どもと一緒に健康習慣を身につけよう!

予告

2026年度兵庫県生協大会

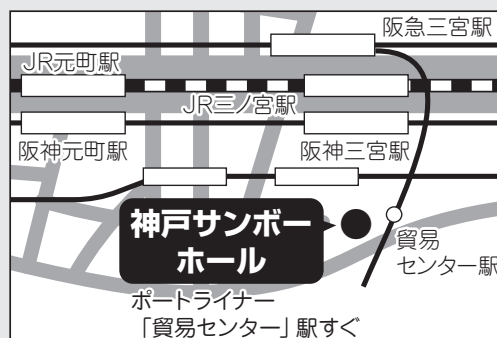
兵庫県内の生協の組合員、役職員が交流し、生協の発展を誓う場として生協大会を開催します。

日程: 2026年10月22日(木)

会場: 神戸サンボーホール
(ポートライナー 貿易センター駅下車すぐ)

内容: 生協功労者表彰、生協・協同組合による
ブース出展、講演など

お申込み等の詳細は、次回「兵協連だより」でご案内
します。



7月3日に第104回国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催し、多くの皆さまにご来場いただきました。ご支援、ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

今回は、東京農業大学 国際食農科学科 教授 上岡美保先生を講師にお迎えし、「食と農の『協同』で笑顔の未来を!」大人の食育が支える、活力ある持続可能な地域づくりをテーマにご講演いただきました。気候変動などによる食を取り巻く課題や、農業だけでなく漁業・森林を含めた協同の力で持続可能な食を支えていくことの大切さについて学びました。

また、「大人の食育」を通して、地域の笑顔あふれる未来を協同の力で築いていくことの重要性を学ぶ講演となりました。

(後)

編集後記

- 8月3日 第2回理事会・兵庫県県民生活部と兵庫県生協連理事会の意見交換会
- 8月4日 兵庫JCC
- 8月5日 第11期虹の仲間づくりカレッジ
- 8月17日 共済生協部会
- 8月19日 近畿地区生協・行政合同会議
- 8月26日 つながる力で能登を笑顔にミーティング
- 8月28日 兵庫JCC第3回事務局会議
- 8月31日 災害対策委員会

県連行事予定